

ナンバリング	B⑥01	科目名	専門総合演習「遊びと環境について考えるⅠ」
担当形態	単独	担当教員	由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	資料を適宜用意します。		
開講時期	前期	単位数・授業形態	2単位・演習
到達目標	・自分の解決すべき課題を見つけることができる。 ・あそびと「保育環境」についての基本的な理解をもち、説明できる。 ・保育者として物的環境を整え、人的環境としてはたらくことについて理解し、説明できる。		
授業の概要	これまで皆さんが学んできたように、今日の幼児教育・保育の基本的な考え方は「環境を通して行う教育(保育)」と呼ばれています。これは、幼児の自主性・主体性を大切にしようとする考え方で、幼児自身が周りの世界(環境)に働きかけて生み出す活動(遊び)を重視しています。この考え方にたつと、保育者にとって重要なことは、まず幼児がかかわる「環境」をどのようにつくるかということになります。保育者は保育の第一歩として幼児への願いや思いを「環境」に込めるのです。実際の園の「環境」はどのようなもののでしょうか、そして、幼児の遊びが育つような「環境」はどのようなもののでしょうか。考えていきましょう。前期終了までに、自分で解決すべき課題を見つけ、後期の学びにつなげます。 受講者同士の話し合いを重視します。授業時間外の活動もありますので、それも含めて積極的に取り組む姿勢をもつことを望みます。		
授業計画	第1回 あそびとは何か? あそびについて、これまでの体験から振り返る 第2回 プレーパーク見学 第3回 プレーパーク見学の振り返り 第4回 「環境」のありようと人間の行動の関係 第5回 子育てと環境 第6回 幼児にとっての園環境を考える 第7回 物的環境について考える(日) 第8回 物的環境について考える(月) 第9回 人的環境について考える(日) 第10回 人的環境について考える(月) 第11回 実習園の保育環境について考える(日) 第12回 実習園の保育環境について考える(月) 第13回 環境を保育の方法として利用するとは? 第14回 保育者の援助としての環境構成 第15回 後期へ向けて—自己課題の設定		

準備学習と必要時間	・授業に際し、指定された資料を読み、考えをまとめること。 ・フィールドに出た際に、子どもの遊びへのかかわりのエピソードをまとめること。 ・授業後に、その日の学びを整理すること。(各々60分以上)				
評価方法	・フィールドワークの状況 — 20% ・授業内での話し合いでの発言内容・授業内のレポート — 40% ・課題レポート — 40%				
参考文献	「演習 保育内容総論 子どもの生活・環境・遊びに向き合う」萌文書林 「保育の基本と工夫. * 環境とカリキュラムを考える *」スペース新社 「遊びを中心とした保育」萌文書林 「子どもも保育者も笑顔になる！ 遊び保育のための実践ワーク」萌文書林				
特記事項	受講者同士の話し合いを重視します。授業時間外の活動もありますので、それも含めて積極的に取り組む姿勢をもつことを望みます。 フィールドワークにかかる費用等は個人負担となります。四街道プレーパークへいく他、必要があればフィールドへでることがあります。 交通費として 1,000 円程度かかります。				
課題へのフィードバック方法	レポート等には、必要に応じてコメントを書き加え返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業	必修	幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格		
実務経験のある教員等による授業内容					